

Q & A 問いの案 (案)

1. 基本的な事項に関する問い

(1) 手書き文字の字形と印刷文字の字形について

- ① 学校で教わった漢字の形と新聞や本で見る漢字の形が違っていることがあります。どちらが正しいのですか。【手書き文字字形と印刷文字字形の違い】
- ② 情報機器の発達によって、人によっては、ふだんの生活の中で文字を手書きする機会が減っており、今後も更に少なくなっていくと考えられます。そうした時代に手書き文字の字形の指針がどうして必要なのでしょうか。【字体・字形の指針の必要性】
- ③ 漢字を手書きすることが文化であると言えるのは、なぜでしょうか。また、平仮名や片仮名についてはどうですか。【文化としての手書き】
- ④ 手書き文字の字形と印刷文字の字形とは一致させるべきではないのでしょうか。【手書き文字と印刷文字の違い】
- ⑤ この指針に書いてあることは、常用漢字表にはない漢字についても応用して考えていいのでしょうか。【表外字の扱い】

(2) 字体, 字形, 書体, 字種などの用語について

- ① 漢字の「字体」と「字形」とは、それぞれどのようなもので、どのような違いがあるのですか。常用漢字表の考え方を説明してください。【「字体・字形」とは】
- ② 常用漢字表の「表の見方及び使い方」には「字種 2,136 を掲げ」とありますが、この「字種」とはどういうことでしょうか。【「字種」とは】
- ③ 常用漢字表の「通用字体」とは、どういうものですか。【「通用字体」とは】
- ④ 常用漢字表に示されている「いわゆる康熙字典体」とは、どういうものですか。旧字体とは違うのですか。【「いわゆる康熙字典体」とは】

- ⑤ 常用漢字表では「書体」という用語をどのような意味で使っているのですか。【「書体」とは】
- ⑥ 「異体字」とは、どういうことですか。常用漢字表の中にもあるのですか。【「異体字」とは】
- ⑦ 日常生活の中で、旧字体や異体字、略字などを使ってはいけないのですか。【通用字体以外の使用】
- ⑧ 常用漢字表に括弧付きで示されている字体も、常用漢字と同じように使うことができるのですか。【いわゆる康熙字典体の扱い】
- ⑨ 漢字には抽象的な存在である字体があるということですが、平仮名や片仮名、数字やローマ字にも字体はあるのでしょうか。【仮名の字体】
- ⑩ 楷書体と行書体とでは、どう違うのですか。また、この指針が主に楷書体を対象としているのはどうしてですか。【楷書体と行書体】
- ⑪ パソコンには「フォント」と書いてあるところに「明朝体」「ゴシック体」などの書体が出てきます。フォントは書体のことだと考えてよいのですか。【フォントと書体】
- ⑫ 「芸」(うん)や「柿」(こけら)のように、常用漢字と同じ字体を持っている(又はそのように見える)のに、別の漢字として用いられているものがありますが、これはどういうことでしょうか。【同字体の別字種について】

(3)常用漢字表「(付)字体についての解説」について

- ① 常用漢字表の「字体についての解説」にある「字形の異なりを字体の違いと考えるなくてもよい」とは、どういう場合のことを言うのでしょうか。【字体の違いにまで及ばない字形の違い】
- ② 常用漢字表の「字体についての解説」の「明朝体のデザインについて」の考え方は、明朝体以外の印刷文字についても同様に当てはまるのでしょうか。【明朝体とそれ以外の印刷文字】
- ③ 「案」の場合、「はねるか、とめるか」に挙がっている「木」,「その他」に挙が

っている「女」の両方が構成要素になっています。「字体についての解説」に「木」「女」についてそれぞれ例示された二つの字形を掛け合わせると、「案」には四つのパターンが生じることになります。そのように、部分部分の書き方を組み合わせることで考えてよいのでしょうか。【いろいろな書き方の組合せ】

- ④ 印刷文字で「茨」と「茨」はデザイン差なのに、「恣」の場合には「次」型を認めないのはどうしてですか。【限定デザイン差】
- ⑤ 「絆」という字を書くときのつくりは「半」の形にしてもよいのでしょうか。「絆」のように、常用漢字ではないものについて、書き方に迷ったらどうすればよいのでしょうか。【表外字の字体について】

(4) 漢字の正誤の判断について

- ① 常用漢字表の考え方では、漢字が正しいか誤っているかを、どのように判断するのでしょうか。【正誤の判断基準】
- ② 常用漢字表では、漢字を書く際のとめ、はね、はらいなどについて、緩やかな考え方が示されていますが、その結果、どのような書き方をしてもいいということになってしまわないでしょうか。【緩やかな基準で問題ないか】
- ③ 例えば、急いでメモを取るときには、「口」を「○」のように書いてしまうこともあります。そのような手書き文字についてはどのように考えればよいのでしょうか。【行書、草書のような書き方】
- ④ 漢字の書き方には正解が幾つもあるという考え方では、漢字を教えるときに困ってしまいます。一つの字形をきっちりと教えるべきではないでしょうか。【字形を統一すべきか】
- ⑤ 6, 7歳くらいの子供に対しても、点画の長さやとめ・はね・接し方が「字体についての解説」のように幅広く認められていることを前提に指導してもよいのでしょうか。【発達段階への配慮】
- ⑥ 子供が小学校の漢字書き取りのテストで、常用漢字表の「字体についての解説」では認められている形の字を書いたのに不正解にされました。本来であれば、正答として認めるべきではないでしょうか。【学校のテストとの関係】
- ⑦ 入学試験や入社試験などの漢字の書き取り問題では、常用漢字表と同じような考

え方に基づいた採点が行われているのでしょうか。そうでないのだとしたら、そのようにすべきだと思うのですが。【入学・入社試験等における字体・字形の扱い】

- ⑧ 学校では、とめ、はね、はらいなどを細かく指導しているようですが、常用漢字表の考え方と違っているのはなぜですか。また、それでもいいのですか。【学校における指導】
- ⑨ 常用漢字表の「(付) 字体についての解説」には、「僅」「葛」などを手書きする際には、「**僅**」「**葛**」のように、印刷文字と違う字体で書くことがあるという説明があります。印刷文字についても、「**僅**」「**葛**」のような字を使っていいのでしょうか。【手書きの習慣を印刷文字に及ぼせるか】
- ⑩ 書道関係の本を見ると、常用漢字表の通用字体とは形の違う楷書の文字が「書写体」「筆写体」などとして示されていることがあります。そのような字を使うことについて、どのように考えればいいのでしょうか。【いわゆる書写体、筆写体の扱い】
- ⑩ ある窓口で書類に自分の氏名を記入したところ、印刷された明朝体の文字を示されて、この形のとおり書き直してくださいと言われました。ふだんは、問題になることはないのですが、活字のとおり書かなくてはいけないのでしょうか。【活字どおりに書くべきか】
- ⑪ 私は市役所に務めています。今度、市民課に異動することになりました。手書き文字と印刷文字の違いに関して、窓口でよく問題になる漢字があったら教えてください。【窓口業務で問題になりやすい字】

33問

2. 具体的な事項に関する問い

(1) 問題になることの多い漢字

- ① 「木」という漢字の真ん中の縦画の最後を、はねるように書いたら誤りなのでしょうか。「木へん」の場合についても教えてください。【「木」・きへん等】
- ② 私はいつも「絵」などの「いとへん」の下の部分を点三つで書いているのですが子供にその字は間違っているとされました。点を三つを並べるような書き方をし
てはいけないのでしょうか。【いとへんの下部の書き方】
- ③ 「右」の「口」は左上の部分に接触するように書くべきでしょうか。それとも離
して書くべきでしょうか。【ノ＋口】
- ④ 私の名前には「保」という漢字が使われています。先日、住民票をとったところ、
にんべんに「口」＋「ホ」の形の「保」ではなく、「口」＋「木」の「保」という
形で印刷されてきました。窓口の人は、これは同じ漢字であるというのですが、本
当でしょうか。【木かホか】
- ⑤ 窓口にいらっしゃった方のお名前に「令」という字使われていました。提出して
もらった手書きの書類には「令」という形が書かれていましたが、コンピューター
処理の後で出力された印刷文字の「令」の形を見て、字が違うと言われました。
「令」と「令」は使い分けが必要なのですか。また、「鈴」や「冷」、「齡」の場
合も同じように考えていいのでしょうか。【「令」、「鈴」等】
- ⑥ 「女」という漢字の2画目は、3画目の横画よりも少し上に出す形で書くように
学校で習ったと思うのですが、その書き方を間違いだという人もいます。どちらが
正しいのでしょうか。【「女」の一とノの関係】
- ⑦ 「吉」という字の上の部分を「土」と書いてあるのを見ることがありますが、こ
れは「吉」とは別の字でしょうか。また、「喜」という字の「土」を「土」と書い
たり、「寺」の「土」を「土」と書いたりする文字を見ることがあります。そうい
う字は、誤りと考えていいのでしょうか。【土と土】
- ⑧ 「改」という漢字の「己」の最後は、印刷文字でははねていますが、学校ではは
ねないと教わりました。どちらが正しいのでしょうか。【「改】
- ⑨ 「登」と「発」では、はつがしらの書き方が違うと教わった記憶があります。使
い分けが必要ですか。【はつがしら】

- ⑩ 「園」や「遠」という漢字の「袁」と「猿」という漢字の「袁」では、下部の表し方が違っていることがあります。これは使い分ける必要があるのでしょうか。
【袁のとめはね】
- ⑪ 「奏」という漢字の最後の部分を「夭」で書いたら誤りでしょうか。【はらうかとめるか】
- ⑫ 「月」の形で書かれる「つきへん」「ふなづき」「にくづき」は元々別のものなので、形を少し変えて書いた方がいいのではないのでしょうか。【つきへん】
- ⑬ 「者」という漢字には「日」の上に点がないのに、「箸」や「賭」には点があるのはどうしてですか。また、それを使い分ける必要があるのですか。【点の有無】
- ⑭ コンピューターで「剥」という漢字を使おうとすると「剝」の形が出てくることがあります。どちらを使えばいいのでしょうか。また、手で書くときにはどうでしょうか。【J I Sコードとの関係】
- ⑮ 電子辞書で「補填」という言葉を調べようとしたら、常用漢字表の「填」とは違う「填」という形が出てきました。どうしてこういうことが起きるのでしょうか。また、手で書くときにはどちらを書けばいいのでしょうか。【J I Sコードとの関係】
- ⑯ パソコンのモニターに出てくる漢字の中に、画数が足りないものがあるような気がします。どういうことでしょうか。【いわゆる間引き字体】
- ⑰ 「牙」という字は「芽」の下の部分のように書いてはいけないのですか。また、その反対はどうですか。【「芽」などと「牙】

(2)いろいろな書き方があるもの

- ① 例えば「糸」の1, 2画目や「衣」の4画目などについて、手書きするときにも、明朝体のような折り方で書いたり、「しんにゅう」を明朝体のように「し」の形で書いたら誤りですか。明朝体のように書いてもよいのだとすると、それぞれの漢字の画数は変わるのでしょうか。【明朝体どおりの手書き、折り方等】
- ② 「八」という字の2画目に、屋根のような部分がある場合がありますが、これは手書きするときにも書くべきですか。【明朝体どおりの手書き、「筆押さえ」等】

- ③ 「子」という字は、活字では縦の画が直線になっていることに気がきました。手書きでは、縦の線を曲げて「子」のように書きますが、どちらでもいいのですか。
【明朝体どおりの手書き，曲直】
- ④ 常用漢字表の「しんにゅう」の字には1点のものと2点のものがありますが、これらを手書きするときにも、点の数は書き分けないといけないのですか。【手書きにおけるしんにゅうの点の数】
- ⑤ 書写の楷書の手本を見ていたら、「天」の下の横画の方が長い字や、「幸」の1番下の横画が一つ上よりも長い字などがありました。そのような書き方をしてもいいのでしょうか。【長短】
- ⑥ 「冒」の「日」と「目」の幅を，上下逆に書いたら間違いですか。【長短】
- ⑦ 「比」や「化」の右側の横画は，左から右にとめるように書いても，右から左に払うように書いてもいいのですか。【方向】
- ⑧ 「(付) 字体についての解説」の「つけるか，はなすかに関する例」に，横画が右の縦画から離れている「月」が例示されていますが，1画ずつをしっかりと書く楷書でも，そういう書き方が許されるのでしょうか。【つけるか，はなすか】
- ⑨ 「条」や「果」の「木」の部分は，筆写の楷書では「ホ」のように書くこともあると聞いたのですが本当ですか。【つけるか，はなすか】
- ⑩ 「又」の1画目と2画目，「文」の2画目と3・4画目などは，接触していても，いなくてもいいのですか。【つけるか，はなすか】
- ⑪ 「言」の1画目と2画目と「玄」の1画目と2画目とを，同じように書いてはいけないのでしょうか。また，「言」の1画目を左上から2画目に接するような形で書くのはどうでしょうか。【方向，つけるか，はなすか】
- ⑫ 「白」や「自」という漢字の1画目の「ノ」が「日」や「目」と接触する位置は，決まっているのでしょうか。例えば，左の縦画の先端に接触するように書いたら誤りですか。【接触の位置】
- ⑬ 「口」の右下の部分と，「日」の右下の部分では，画の接し方が違うと聞きました。手書きするときには，書き分けなくてはいけないのでしょうか。【接触の仕方】
- ⑭ 「木」や「林」，「数」や「枚」などの最後の画は，はらって書くのが普通だと

と思いますが、押さえてとめるような書き方を見ることがあります。そのような書き方をしていいのでしょうか。【はらうか、とめるか】

- ⑮ 「因」という字の「大」の3画目や「困」という字の「木」の4画目をはらうように書く人ととめるように書く人がいます。どちらでもいいのですか。【はらうか、とめるか（狭いところ）】
- ⑯ 「十」の2画目をぬくように書いた字を見ることがありますが、本来はとめるべきではないでしょうか。【とめるか、ぬくか】
- ⑰ 常用漢字表の「(付) 字体についての解説」には「牛」の縦画をとめた形で書いてもはねた形で書いてもよいことが例示されていますが、「オ」をとめるように書くのは誤りでしょうか。【はねるか、とめるか】
- ⑱ 「空」のあなかんむりの5画目は、活字のようにはねて書いてはいけないのですか。【はねるか、とめるか、はらうか】
- ⑲ 「女」という漢字は、単独で使うときと、部首（女偏）で使うときとで書き方に違いがあるのでしょうか。【単独の字と部品になった場合の字形差】
- ⑳ 私の姓には「戸」という字が使われており、以前から1画目を点で書いています。市役所で住民票をとったところ、1画目が横画「戸」になっていました。これは、私の姓の漢字と違うのではないのでしょうか。【点か棒か】
- ㉑ 「右」と「左」は筆順が違うから初めの2画の形が違うと習ったのですが、わざわざ形を変えて書かなくてはいけないのでしょうか。【筆順と形】
- ㉒ 常用漢字表の字体についての解説で、「喩」の筆写については「喩」の形と「喩」の形が挙げられていますが、右側のつくりの部分、筆写の楷書の形と明朝体の形とを合わせた形で書いてもいいのでしょうか。【手書きと印刷文字の字形の組合せ】
- ㉓ 「曾」の上の部分を「八」のように書いてはいけないのですか。【簡易慣用字体が通用字体となった漢字の扱い】